

《「共通テスト」受験のすすめ》

～国公立志望・私立大志望に関わらず、まず出願しよう!!

令和3年度入試ではコロナ禍の影響で、個別試験を受験できなかった場合、『共通テスト』を合否判定に使う特別措置を講じた私立大学が多くありました。令和4年度入試においても、同様の対応を行うと発表している私立大学も多くあります。また、3月入試を新設し「共通テスト」を利用する私立大学も増えています。(東京女子大など)

こうなると、『共通テスト』を受けていない受験生は不利となります。感染状況が予測できないコロナ禍での入試だからこそ私立大志望者も「共通テスト」は受けておくべきです。

《大学入学共通テストの出願》

校内で取りまとめて発送手続きをしますので、校内提出期限は厳守してください。願書は『記入上の注意』をよく確認して記入してください。現役生は学校一括でないとお願できません。

間違えて記入してしまった人は、二重線で消し(修正液修正テープは不可)、はっきりわかるよう訂正してください。

注意点を挙げておきます。

- ・出願時に、受験教科名、地歴・公民の受験科目数、理科の科目選択方法を登録する。志願票への記入誤り等で受験教科等の訂正が必要になった場合、訂正届を出せば登録内容について訂正することができる。

指定校推薦の校内選考を通過しても合格するとは限りませんから、「共通テスト」を利用する可能性のある人は出願しておいてください。指定校推薦の出願条件に「共通テスト」の受験が条件(十来年4月以降に届く成績通知を大学に提出)になっているところもあります。私立大学志望の人は、自分の志望校が「共通テスト」を利用しているのか確認をしてください。なお、「共通テスト」受験前に出願締切がある場合と受験後に締切がある場合があります。「募集要項」、「入試科目一覧表」などで調べておくことが必要です。

進路だより17号(「大学入学共通テスト」の意義を再確認しよう)でも記述の通り、国公立大はもとより私大志望者にとっても「共通テスト」は受験において、学力面でも攻略面でも重要な意味を持つ試験です。9月以降も引き続き、個別試験や一般試験対策と並行しながら8割以上の得点を目指し学習してください。

★志願票の記入内容に学校側は責任を持ってないので、受験者本人が責任をもって記入する★

《志願票の記入上の注意》

p.19～p.24の記入上の注意を熟読し、願書についている記入例を参考にして、黒のボールペンで記入すること(青は不可)

例年、記入方法をよく見ずに記入して間違える人が多い!

- ・越谷北高コード番号は 11135A
- ・高等学校名は、『越谷北』と記入
- ・性別・生年月日の記入漏れがないように(記入漏れが多い)。

- ・連絡電話番号は原則として自宅。北高は不可。携帯番号も記入すること。
- ・『1. 全日制』を○で囲む。『1. 普通科』、『2. 理数科』のいずれかを○で囲む。
- ・『1. 卒業見込』を○で囲む。
- ・出願時に、**受験教科名、地歴・公民の受験科目数、理科の科目選択方法（ABCD×から選んで）**を登録する。試験当日に変更はできません。確認ハガキが届いた後、訂正届を出して後日訂正することはできますが(p28・29)、十分に検討して登録すること。
- ・成績通知希望の希望する、希望しない のいずれかを○で囲む。
- ・イヤホンが装着できないまたは装着できるか不安な場合は、早急に担任まで申し出ること。現物が進路室にあります。装着できない場合は、「イヤホン不適合措置申請書」を入手し、最寄りの共通テスト利用大学に出向いて確認の署名をもらった後、志願票に貼り付けて出願してください。当日はヘッドホンが貸与されます。(後日の申請はできません。)

その他、注意事項がたくさんありますので『受験案内』を熟読してください。

《検定料納付について》(振込用紙は4種類ある)

(1) 検定料 成績通知を希望する場合： 3教科以上…18,800円 2教科以下…12,800円

(2) 志願者氏名は**受験者本人の名前**を書く。

(3) 銀行か郵便局の**窓口で納付**し、『D票とE票』を受け取り志願票には**E票**を貼る。

主な金融機関は3時まで、郵便局は4時までしか受けつけない。

※ ATM不可。コンビニも不可です。

受領日付印が押されていることを確認。

提出締切・・・9月10日(金)迄

(保存用に、両面コピーを取ることを忘れないこと)

- ★ 分散登校期間中につき、提出期限を守って早めに提出すること。
- ★ 学校でとりまとめ、申込者リストを作ってから、受付開始日(9月27日)到着指定で発送予定です。

《出願後の流れ》

※10月27日(水)までに、大学入試センターから、出願登録内容の確認はがきが学校に来ます。

各自点検して、万一誤りがあった場合は、訂正して返送することになります。受験教科等の変更が必要になった場合、「登録教科等訂正届」と「確認ハガキのコピー」を**学校経由**で大学入試センターに提出します(11月4日(木)(消印有効)まで)。なお、受験票は、12月15日(水)までに学校に届く予定です。

毎年、質問のある過剰科目受験についてですが、1科目指定の教科での2科目登録は「第一解答科目」指定の大学(ほとんどの国公立大・多くの私立大)では意味がありません。この場合、1科目のみ解答して退室することはできませんし、後半から参加することもできません。必ずその時間拘束されます。

過剰科目の受験は、無用の混乱や誤解答が起こる可能性もあり、避けた方が無難です。2科目で出願して1科目しか必要でなくなった場合は確認ハガキが届いた際、**高等学校を通じて訂正届**を出すことができます。(上記※)それ以降は変更できません。

2科目受験する人は、自分の解答順に第一解答科目、第二解答科目となります。「**ぶれずに自分の必要な科目をしっかりと勉強し、第一解答科目が優先される**」つもりで受験に臨みましょう。なお、地歴においては、同一名称のA,B科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士は選択できません。これは全大学共通ですが、東大、一橋大、北大、東北大等難関大学では2単位科目(A科目、現社、倫理、政経)では受験できません。このように、特に地歴公民の選択が極めて複雑です。私大も含めて受験予定の大学の指定教科科目を十分に研究しておいてください。不安な場合は担任に相談してください。